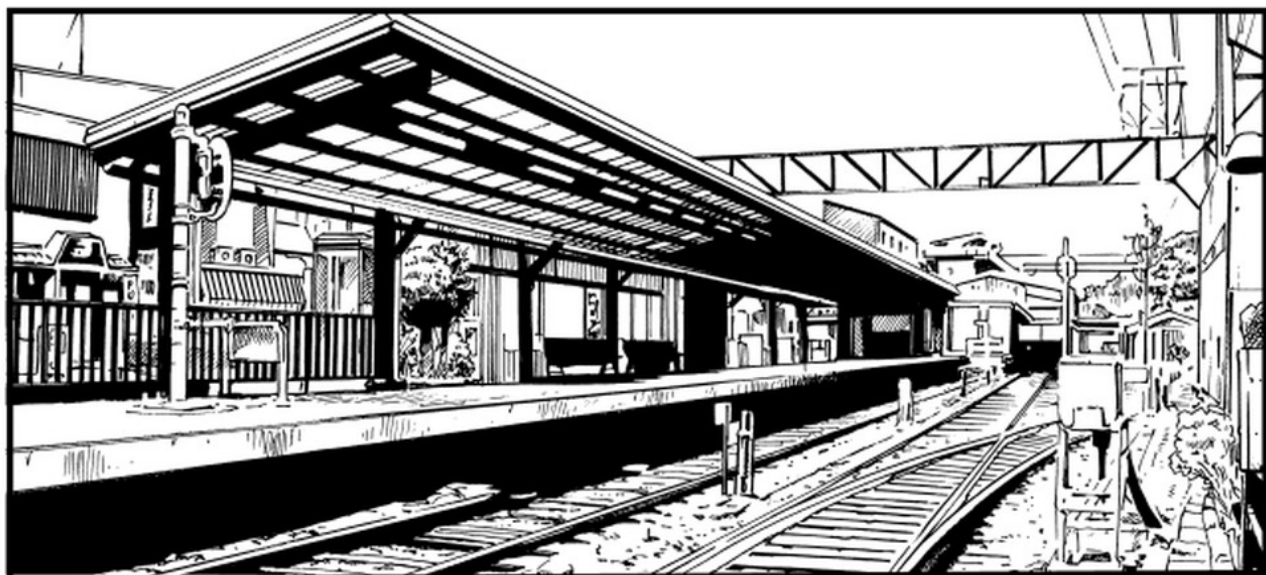




あな
たに
触
れ
た
い





電車の真ん中に
来ちまったからな…
つり革がねえ

危ねえから
俺に掴まっておけ

す、すみません

オレ…つり革とか
ダメなんです…
実は

ちよつと潔癖の
気が合つて…

つり革とか人に
触れられるのとか
ダメなんです

お前：それで
よく電車に
乗れるな

ハハ…オレもそう
思いました…

ならオレに掴まれたのも
気持ち悪かつただろ？

すまなかった…
不用意に掴んじまって

いえ！それが
あなたに掴まれても
平気だったんです！

ほら…

キュ…



リヴァイさん：

オレは
エレンです

エレン：お前
どこの駅で降りる？

シーナ駅です

俺の一個先だな
…なあエレン

どうせ同じ電車に
乗るなら
俺の降りるマリア駅まで
側についてやる



いつもなら鳥肌立ったり
汗が出てくるのに
あなたなら平気なんです



リヴァイだ



え？

あなたなんて言われながら
手え握られてると
変な気になりそうだ



俺の名は
リヴァイだ



翌日













成分表ですね！
すぐ持って行きます



あ、エレン？
悪いんだけど

この前の新薬の成分表
五部コピーして
第二会議室まで
持ってきて欲しいんだ



今日シガンシナ会社の
営業が来てるんだっつたよな？
向こうの担当
相当やり手らしいぜ

ああ、これが決まれば
生産に入れるんだ
ハンジさんも
力いれてるし



じゃあ行ってくる

粗相
すんじゃねえぞ



あんな…

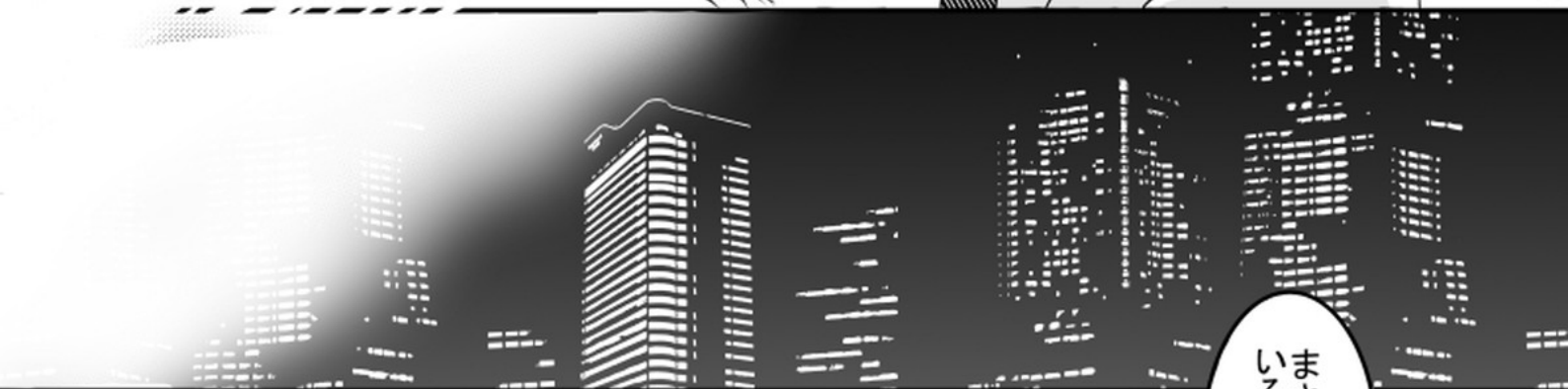








それだけで
ドキドキする：



まさかお前が
いるとはな：



：なあエレン
あれから色々
考えたんだ：

何故俺だけが
お前に触れられる
のかを：

オレも
驚きました



俺はチャンスを与えられたと思ってる

その特権を与えられたと思いたい…

俺だけがお前に触れられると思いたい…

お前に触れたい…

エレン…



オ…オレなんか
リヴァイさんみたい
な
素敵な人と…なんて

い…いいんですか？



お前が好きなんだ



お前じゃなきゃ
ダメだろうが…

エレン…



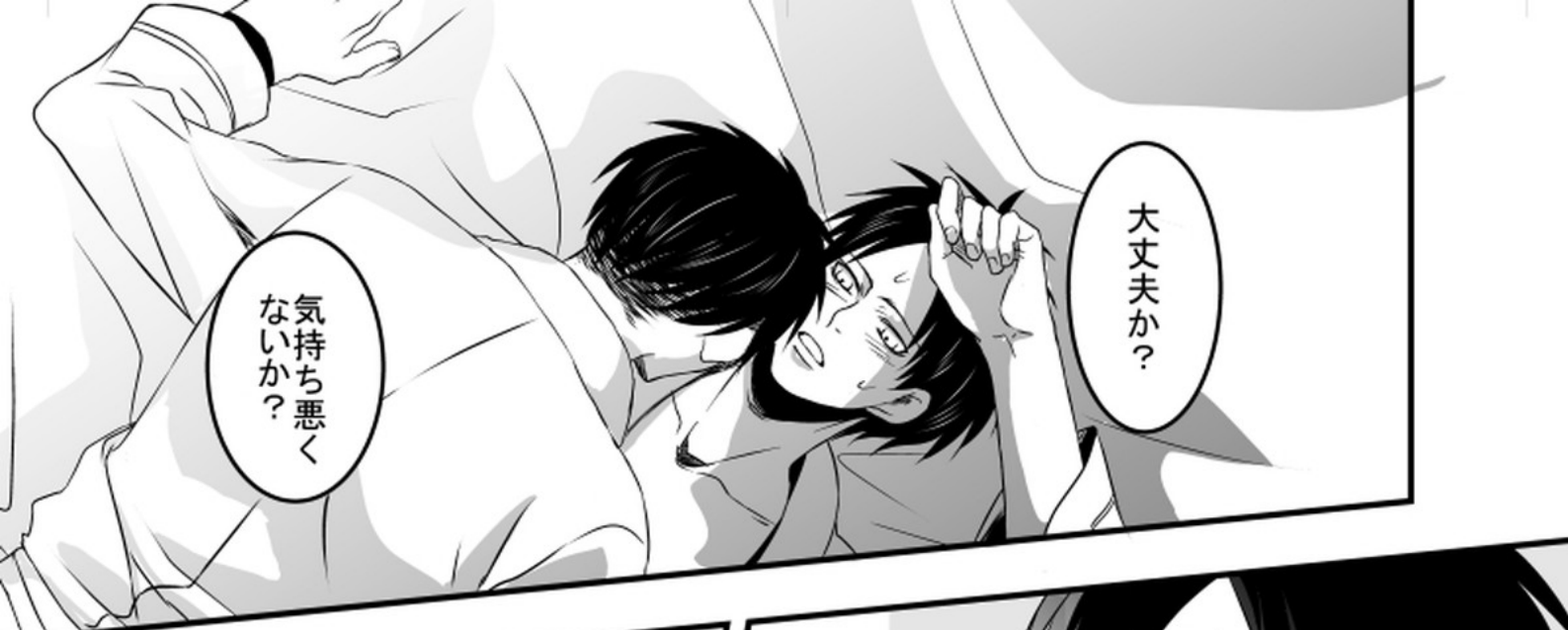
そんな顔
ずるい……

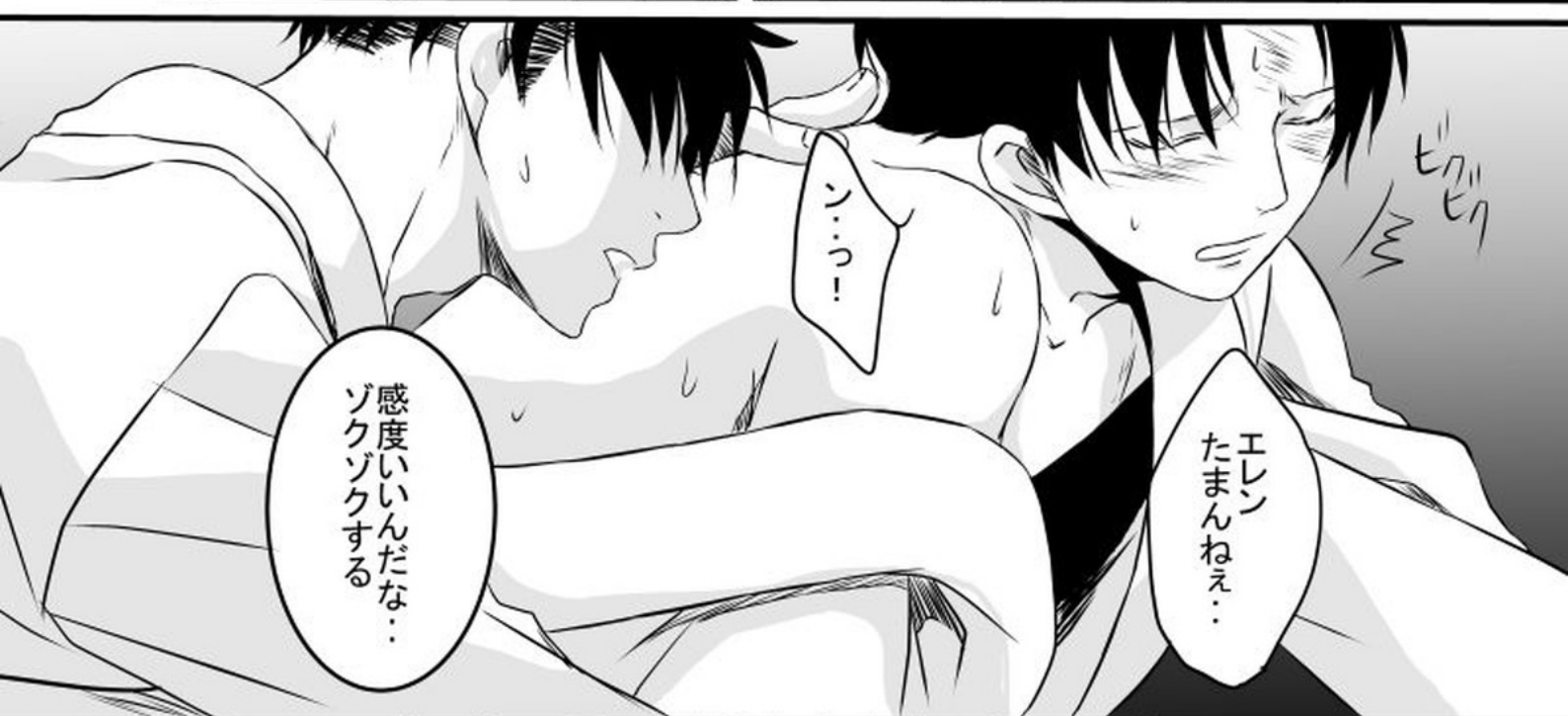
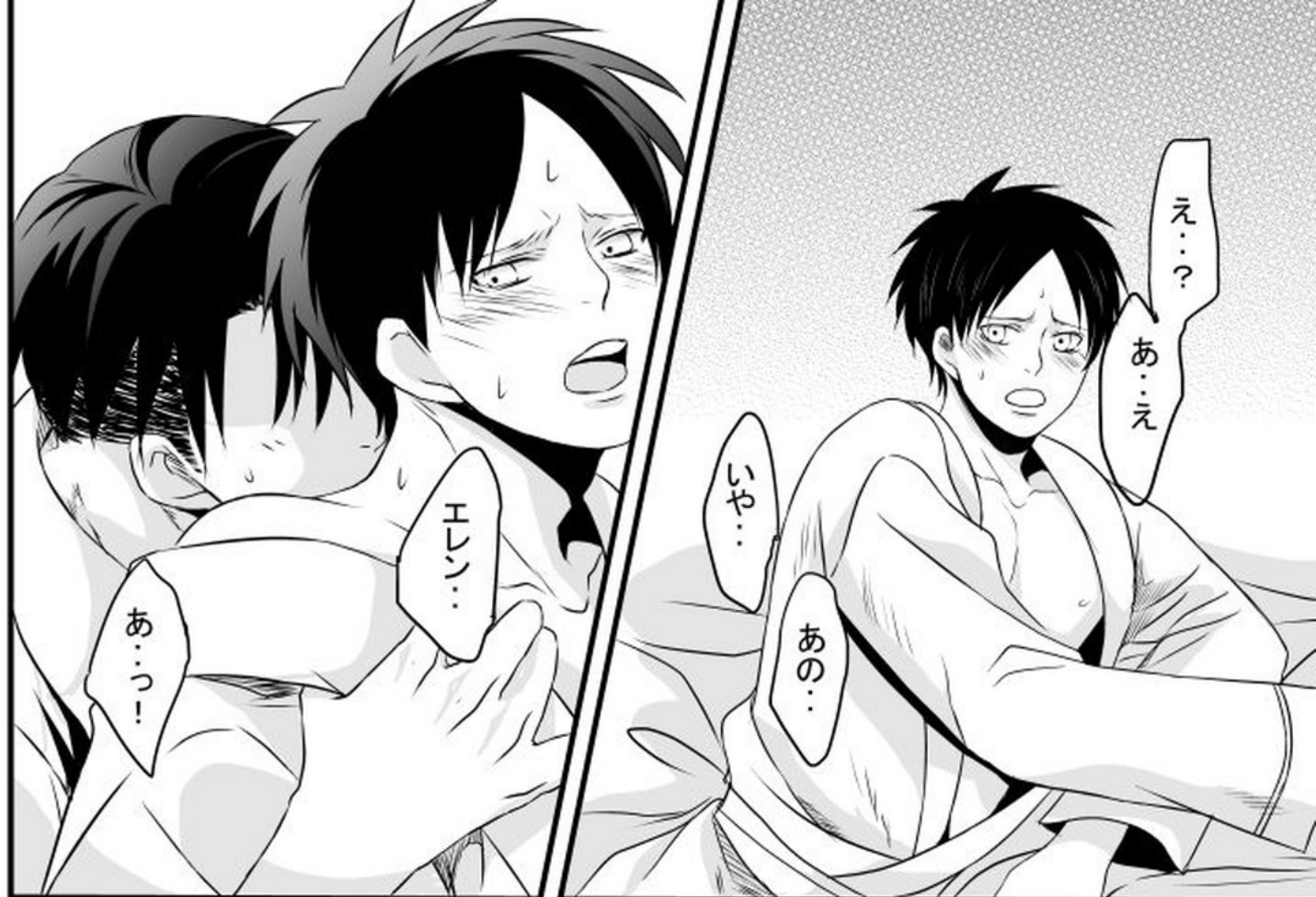
でも……オレも
どこかで
期待してた……







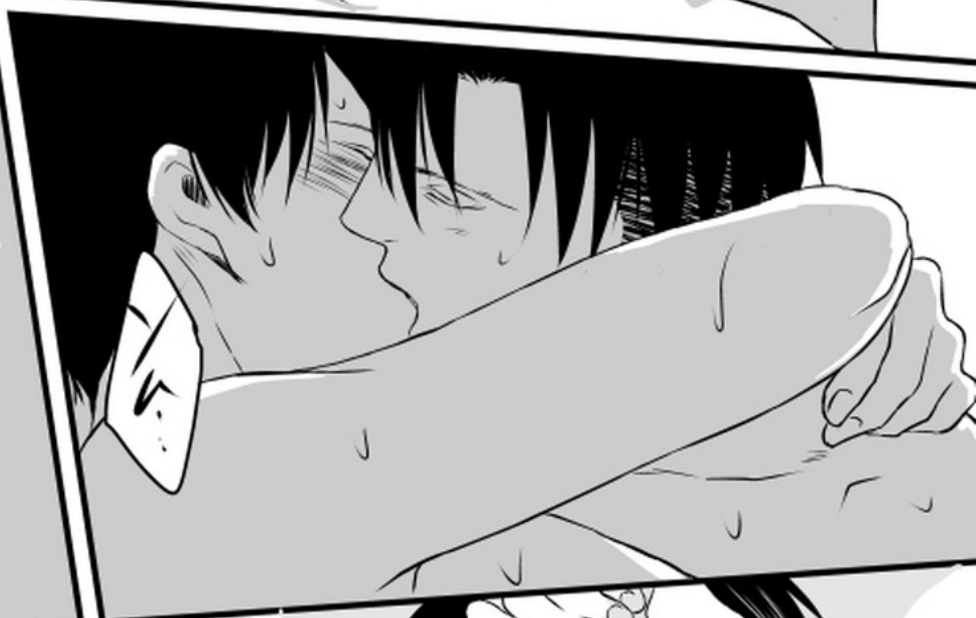
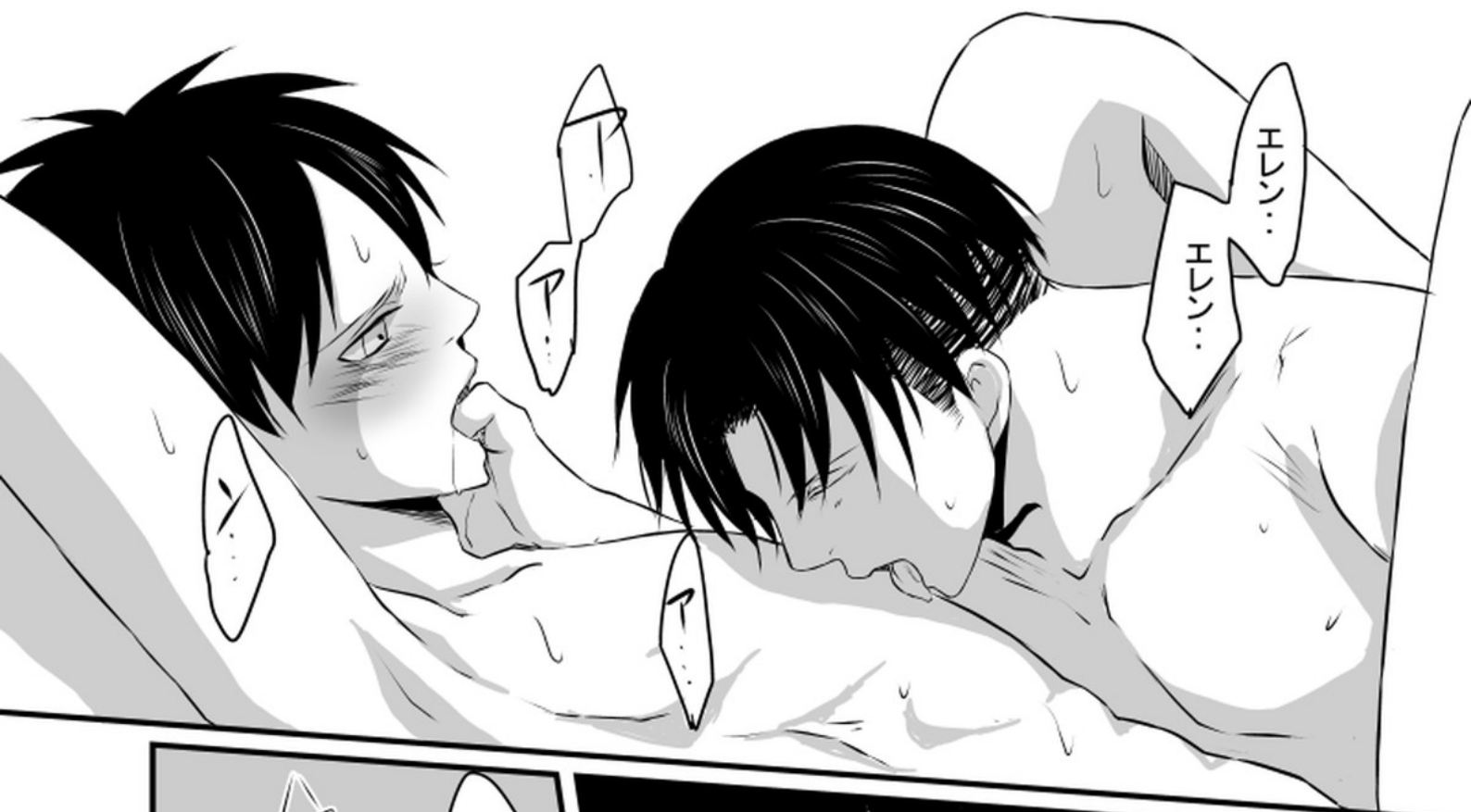






優しくして
下さいね









エレン：
好きだ

熱い……

愛する人を
受け入れることが
触れられることが

こんなにも
熱くて……
気持ちがいいなんて





気持ち良かった
……デス……



き……



オレたち……
運命だったん
ですかね



オレ……人肌がこんなに
気持ちいいなんて
初めて知りました



ああ……俺に出会うまで
待っててくれたんだな



俺もこんなに
気持ちいいのは
初めてだ……

大事にする

エレン：俺と
付き合ってくれ

最後まで
責任取って
くれるなら

それこそありがたい：
パートナーになろう
エレン：

オレ重いですよ
きっと

望むところだ

ちょっ……
触らないで

この流れは
もう一回する
流れだろ？

俺だけのエレン

Fin